



学校教育目標 「学び合い」 「個性」 「自立」

- | | |
|--|-----|
| (1) 生きるための基本的な生活習慣・学力を身につける生徒を育てます。 | 【知】 |
| (2) 自分のまわりの人とふれあい、お互いを大切にする心を育てます。 | 【徳】 |
| (3) 自他の生命を尊重し、健康でたくましい体を育てます。 | 【体】 |
| (4) 社会の一員として自覚をもち、自分の生き方を決められる生徒を育てます。 | 【公】 |
| (5) 体験を通して自分を豊かにし、社会の変化に柔軟に対応できる生徒を育てます。 | 【開】 |

今年度も、本当にありがとうございました。

校長 佐塚 保恵

3月23日、とある公園で、開花宣言がでたものの雨の中まだ一分咲きほどの桜は、この後急速に淡いピンク色にそまってしまうのだろうな・・・と思って見上げていた私の視線をゆっくりおろすと、モクレン・レンギョウ・こぶし・ゆきやなぎ・芝桜などの花々が目に飛び込んできました。季節をちゃんと感じて、誰に指図されなくても芽を出し花を咲かせる・・・何だかすごいなあ、そして軽く「負けた」と毎年思ってしまう。

11日に行われた卒業式では、324名の3年生が立派に巣立っていきました。証書を渡すとき、この一人ひとりの未来に幸多かれと思い、すばらしい歌声が響くとき、義務教育の終了を迎えた本人たちはもちろん、支え励ましてくださったご家族の安ど感と一抹の寂しさのような感情を感じ、退場する姿に、共に過ごした教職員それぞれに走馬灯のように思い出されたであろう数々のシーンが目に浮かぶような気がいたしました。この日は、8年前に東北大震災が起こった日でもあることも忘れてはならないことであり、式辞の中で、その年の3月23日に橋上中学校の卒業式で代表の梶原君が読んだ答辞を紹介しました。梶原君は人間の無力さや自然の脅威につらくくやしいと嗚咽をこらえながら吐露しつつも、「苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合って

生きていくことが私たちの使命です。」と言い切っています。この決意には、私たちそれぞれがその環境の中で明日は当たり前に来るとどこか甘えて生きていることを自覚し、学ばねばならないことがたくさんあります。

そう思ったとき、学校創立71周年目の、さらなる高みを目指して歩み出す今年を田奈中学校はどう過ごしてきたのかを振り返る責任があるように思います。生徒も教職員も、よかったこと、がんばれたこと、できなかったこと、だから新年度やり通すべきことを考えて4月を希望にあふれて迎えましょう。

保護者の皆様、地域の皆様、言葉にできないほどの温かいご支援をいただきました。心から感謝しております。ふとしたご縁で保護者様や生徒と直接お話しできる機会に恵まれたとき、教員でよかったと感じることも、共にがんばりたいと元気をいただいたこと、考えさせられたこともありました。今後も、お預かりしている生徒たちの豊かな育成に向けて、職員一同誠心誠意努力いたしますので、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました

副校長 我妻 智之

今年度第2学年の自然教室に同行するにあたり『時間・空間・仲間』の三つの『間』を大切に、すばらしい思い出を作ろう」と投げかけたことがありました。今、振り返ってみると、4月からのすべての出来事の中で、すばらしい「とき」と「場」を体験し、生徒の皆さんだけでなく保護者や地域の方々とともに「絆」を感じることができたと思う1年間でした。田奈中学校に関わる全員で思いを一つにして、さらに前

へ進んでいきたいと考えています。これからもご支援、ご協力をお願いいたします。

<校内百人一首大会 個人戦>

今年も渡辺令恵永世クイーンをお招きして、2月25日（月）と28日（木）の二日間、百人一首大会個人戦が開催されました。会場となった道場には、熱気があふれていました。今年も黄学年（2年）の活躍がめざましく、その姿を見ながら、途中で敗退した2年生も1年生も「来年こそは」という思いをかみしめて、勝って涙、負けて涙の真剣勝負を終えました。大会結果は次の通りです。（敬称略）

| | | |
|-----|----|----------------------|
| 優勝 | 2年 | 阿部 七海・酒井 凜ペア（2年連続優勝） |
| 準優勝 | 2年 | 太田 和希・倉地 礼菜ペア |
| 第3位 | 2年 | 木村 結・廣田 華琳ペア |
| | 2年 | 霞流 華恋・木村 萌香ペア |



<卒業証書授与式>

第72回卒業証書授与式が3月11日に行われました。3年間の中学校生活、そして9年間の義務教育を修了した324名が、3年間のさまざまな思いと新たな決意を胸に、田奈中学校を巣立っていきました。厳粛な雰囲気の中、姿勢正しく証書を受け取る成長した姿は、凛々しく、頼もしくも感じられました。もう二度と同じメンバーで歌うことのない「校歌」、合唱コンクールの思い出がよみがえる「信じる」。在校生の歌う「予感」は昨年度を思い起こさせてくれるものでした。この歌声に込められた思いをしっかりと心に留め、在校生「未来に向かって始まるあなたの物語！」との在校生からのメッセージを胸に、それぞれの進路先での精一杯輝くことを期待しています。



〈卒業生 別れの言葉〉

暖冬だと思われていた今年、私たちの受験が近づくとつれて冷たさを増していった風も、今ではやわらかくなり春の訪れを感じるようになりました。

三年前の四月、私たちはこの田奈中学校に入学しました。暖かい日射しがふりそそぐ入学式、慣れない通学路が新鮮に感じられました。周りを見回すと、同じ制服を着ているのに知らない人ばかりで、私は同じ小学校の人を探すことに夢中になっていました。

今ここに立って見える景色は、三年前の入学式とは全く違います。自分の目の高さが変わっただけでなく、仲間が見守ってくれているという安心感は、私の心を落ち着かせてくれます。

思い返せば入学した時の時、私は学校生活に慣れることに必死でした。楽だったランドセルは重たいリュックに変わり、放課後公園で遊んでいた時間も部活での練習に変わって、毎日が大変な生活になりました。

また、定期テストという謎の試練もあって、内申をとるためというよく理解できない理由の中、私も自主勉強に取り組むようになりました。仲のよかった上級生は、先輩という立場に変わり、部活や委員会、体育祭では、敬語や気遣いをする事の大切さを学びました。

そうして学校生活にも慣れてきた一年の半ば、私たちは合唱コンクールという初めての壁にぶつかりました。意欲の差からくるいざこざはどのクラスにもあったように思えます。でも、少しずつみんなの意識が高まり、本番ではどのクラスも気持ちのよい合唱ができたと思います。賞は三つで、全てのクラスがとれるわけではなく、悔しい結果に終わるところもあったけれど、全てのクラスにとって、練習してきた歌は、思い出のあるものとして今も残っていると思います。

二年生になると、後輩が入ってきて、嬉しそうに教える同級生の姿が多く見られるようになりました。部活では、自分の実力を上げるために、より一層の頑張りを見せている人もいました。中学校生活も二年目になると、いろいろなことに見通しが持てるようになり、行事の取組もスムーズに行えるようになりました。そんな中で一番思い出に残っているのは自然教室です。夜には誰が最後まで起きていられるかとか、トランプをして遊んで就寝時間ギリギリまで友だちと楽しい時間を過ごしたのを覚えています。

また、農村体験では農家の方と親交を深め、いろいろなことを教わったり、美味しいものを食べさせてもらったりして、第二のおじいちゃん、おばあちゃんことができました。

楽しみにしていたキャンプファイヤーでは、仲間と協力して作り上げたクラススタンプを披露し合い、盛り上がりしました。思わぬサプライズ、最後の花火にはみんなびっくりして釘付けになり、夜空を見上げました。

もうひとつ思い出深いのは赤学年のみで行われたミニ文化祭です。歌、お笑い、ダンスなど、見せる発表者だけでなく、見るほうも会場を盛り上げようとする一体感が体育館を包み、赤学年の絆を一段と深めることができました。

そしていよいよ三年生。迎える行事全てが集大成となり、卒業や自分の進路について意識するようになりました。

修学旅行では、自由行動が深く思い出に残っています。一日目の奈良では、横浜では見られない鹿と存分に触れあいました。

二日目の京都では行き先はみんな違うものの、自分達が作った予定をもとに、一日京都市内を歩き回りました。時間に合わせて臨機応変に行動する中で、普段は見られない班員の長所を発見することができました。

やがて、冬の気配とともに、定期テストよりも入試という言葉のほうがよく聞かれるようになりました。昼休みの廊下は人がおらず、受験が間近になっていることを、より実感しました。

この先数ヶ月で、今、話をしている人たちとは会えなくなるということも、ひしひしと感じながらの受験でした。確かに受験は楽なものではありませんでした。自分のこと、友だちのこと、一番心配したかもしれません。今まで自分が頑張ってきたことや、周りの人がかけてくれた言葉を胸に、受験会場に向かったことが、とても印象に残っています。



そんな受験が終わったのが数週間前。早帰りになると、今までの出来事を思い出すようになりました。

特徴的な思い出だけでなく、楽しかったことや辛かったこと、恥をかいたり、失敗したりしたことなど、いろいろなことがよみがえります。今日で私の三年間が終わってしまうと思うと、少し寂しい気もします。一・二年生のとき、とても長いと思っていた中学校生活は、あつという間に過ぎていきました。

私の三年間にはたくさんの人が関わってくださいました。部活でいつも一緒だった友だちや昼休みいつも遊んでくれた友だち、休みの日に一緒に勉強したり遊んだりしてくれた友だち。あなたたちがいてくれたおかげで、私は、緊張しているときには心を和ませることができ、不安なことがあっても、それに立ち向かうことができました。これから先、違う道を進むことになるけれど、互いに自分の目標に向かっていきましょう。

そして、いつも前を指し示してくれた先輩や私たちについてきてくれた優しい後輩。皆さんとは部活や委員会でも多くの時間を過ごしました。一緒にふざけ合ったり楽しんだり、互いを助け合ったりしましたね。活動がうまくいかず、叱ってしまうこともあったと思います。それは、皆さんが先輩という立場になった時、間違ったことを教えないようにという思いからの行動でした。いよいよこれからは、あなたたちが学校を作り上げる番になります。私は皆さんに田奈中生として誇れるものを作り続けて欲しいと思っています。私は今、田奈中生として、誰にでもあいさつができることを誇りに感じています。田奈中生のよいところを伸ばし、この学校をより良くして行って欲しいです。

たくさんのことを教え、また、私たちの意見に耳を傾けてくれた先生。先生方からは、諦めずに挑戦することの大切さを学びました。先生方のおかげで難しいことにも立ち向かう勇気が生まれました。これからは先生に教わったことを胸に、日々、自分を高めていきたいです。

そして、私たちを支えてくださった地域の皆様。普段「行ってらっしゃい。」と声をかけてくれたことで、一日明るく過ごすことができました。ありがとうございました。これからも田奈中生をよろしく願います。

最後に、いつも自慢だって、愚痴だって、まっすぐに受け止めてくれた両親。意見が食い違ってケンカをすることもあったけれど、お母さんのお弁当はいつも美味しかったし、おとうさんのアドバイスは、私を動かすエネルギーになっています。自分の気持ちは伝えづらいし、これからは迷惑をかけるかもしれないけれど、私が成長していくのをこれからも見守ってください。

いよいよ私たちの旅立ちの時が来ました。

私たち赤学年で決めた「RED レジェンド・栄光・団結」という学年目標は、学年色の赤にちなんでつけられました。伝説となるような学年にしようという意味がこめられています。私たちは、この目標を実現できたでしょうか。これからは赤学年としての伝説ではなく、ひとり一人が自分の伝説を作っていきます。324の伝説ができたとき、本当の意味で、私たちの学年目標は実現するのかもしれない。

明日から私たちは、この田奈中学校を離れますが、もう、誰かに頼るのではなく、自立した人としての自覚をもって「なりたい自分」になれるように、日々努力していきます。

今まで三年間。本当にありがとうございました。

平成三十一年三月十一日

卒業生代表 川合 美音

<卒業生に贈る言葉>

寒さに背中を丸めて過ごしていた冬も、終わりを告げ、温かく、希望に満ちた、春本番を迎えようとしています。今、田奈中学校ですごした三年間を終え、「未来に向かって始まる物語」に進もうとされている卒業生の皆様、ご卒業、おめでとうございます。

今、これまでの先輩方との思い出を振り返ると、本当に様々な場面で僕たちを支えてくださり、心強かったことを改めて感じています。

思えば、二年前、僕たちの入学式の日。これから始まる全く新しい学校生活への不安を抱えていた僕たちに、「大丈夫だよ。」と優しく声をかけてくださり、「がんばれ！」と言って、先輩方が見せてくれたあの温かな笑顔は…忘れません。

普段の生活でも、僕たちの心強い先輩として、勉強、部活動、生徒会活動、体育祭や文化祭の学校行事を通して、優しく、ときには厳しく導いてくれました。

部活動では、僕たちが仮入部のとき、まだ入ると決まっていなかったのに、ラケットの使い方から体の動かし方などを一日目から教えてくれました。

僕は、そこに、先輩方の優しさを感じたのを今でもはっきりと覚えています。

また、入部が決まってからも、伸び悩んでいるときにたくさんのアドバイスをしてくれました。

そして、試合で負けたときの悔しさ、勝ったときのうれしさを先輩方と分かち合えたのは、貴重な経験でした。生徒会活動のときもそうでした。不慣れた僕たちに一から丁寧に教えてくださったり、色々な話し合いをしたり、充実した二年間を過ごすことができました。

行事での先輩方の活躍も素晴らしかったです。

全力を出し切り、声をからした体育祭。

組体操では「おおっ！」という力強い響きが校舎にこだまして、どんどん人が人をのぼっていき、大きなピラミッドを作っていたのが、本当にかっこよかったです。

「響」では、音楽に合わせて躍動し、汗を流しながら本気で演技している姿に「一生懸命がカッコいい」を身をもって体感しました。

また、それぞれの色ごとに、学年の枠をこえ、全力で盛り上げる応援団の姿には、心の底から感動しました。クラスの団結が必要不可欠な合唱コンクール。

高く美しいソプラノと、低く安定感のあるバス、そして、その二つをつないでいるアルトとテノール。各クラスのレベルが本当に高くて圧倒されました。それはきっと、どのクラスも、自分達の限界に挑戦し続けた結果だったのだと思います。

先輩方は、本当に多くのことを僕たちに教えてくださいました。

四月からは僕たちが、今いる新二年生と、これから入学してくる新一年生を引っぱっていかねばいけません。

僕たちも、先輩方のように、大きく、たくましく、あこがれられる三年生になれるよう、日々努力していきます。



先輩方とお別れするのは悲しいですが、「未来に向かって始まる物語」へと進んでいく皆様を、笑顔で送り出したい
と思います。

この物語の先には、今までよりも苦しいことや辛いことがあるかもしれません。

ですが、先輩方なら、田奈中学校での経験を生かし、力強く前進していくこと
でしょう。たまには、田奈中学校に顔を出し、部活の指導や、新しい世界での話
などを聞かせてください。

とうとう、お別れのときが来てしまいました。

三年生の皆様、今まで本当にありがとうございました。

最後に、これからの皆様のご健康と、新しい世界でのご活躍を心からお祈りし、
卒業生に贈る言葉といたします。



平成三十一年三月十一日

在校生代表 石田 稜

<2年生 学年集会(SGG)> -2月26日-



行事が続いた1~3月。百人一首大会に続いて2つ目は学年集会。1年次は各クラスとも「自分のクラスが一番だ」と信じ、各行事に全力で取り組みました。



二年次は学年全体に視野を広げ、クラスはもちろん、学年目標に近づくために、自然教室から始まり、今回の学年集会（SGG=スーパー・学年集会・ゴッド）まで、取り組みを重ねました。この集会では、今までの『みんなで“楽しみたい”』から『みんなを“楽しませたい”』という思いに進化・深化させ、実行委員と有志が力を合わせ、学年全体の絆を深めることができました。



<2年生 学習発表会> -3月14日-

2年生では、年明けから修学旅行の事前学習に取り組んできました。各クラス班に分かれて寺社や文化などについて調べ学習を行い、修学旅行で行きたくなるようなその場所のキャッチコピーを作り、ガイドブックを作成しました。3月1日にはクラス内で全員の発表会を行いました。どの班も、聞き手を惹きつけるものとなるよう、工夫を凝らした発表でした。同じ時期に多くの行事があり、もっと時間がほしいところではありましたが、班員で協力し合い、個性ある発表ができました。その中から、各クラス2班が代表として、14日に学年発表会を行いました。大変わかりやすい内容で、修学旅行に行くのが、楽しみにになりました。



<2年生 球技大会> -3月15日-

いよいよ待ちに待った、2年生最後の行事「球技大会」。昼休みも集まって練習しているクラスもありました。学級の集大成を見せるべく、一人一人がクラスのために全力で戦っていました。勝利に輝く笑顔、負けてしまっても「次、勝とう!」と励まし合う姿。どのクラスも一生懸命戦う姿がかっこよかったです。

開会式から、閉会式まで自分たちで運営しきった生活委員の皆さん、立派でした。有難うございました。



| | | | | | | | |
|----|----|----|-----|----|----|----|------|
| 男子 | 優勝 | 7組 | 準優勝 | 1組 | 2組 | 4組 | (同率) |
| 女子 | 優勝 | 8組 | 準優勝 | 5組 | 三位 | 3組 | |
| 総合 | 優勝 | 5組 | 準優勝 | 8組 | 三位 | 2組 | |



< 1年生 球技大会 > -2月26日-

2月26日、1学年の球技大会（ドッチボール）を行いました。少し肌寒い感じでしたが、試合が始まるや一転、グラウンドに作られた4つのコートでは、白熱した試合が展開されました。勝った時の喜び、負けたときの悔しさを味わいながら、試合を通してクラスの団結力が増していくのを感じました。体育祭実行委員が、事前の準備から運営にあたってくれました。昼休みに練習していたクラス、試合前に作戦を立てていたクラス、円陣を組み気合を入れていたクラス・・・とクラスの取り組み方もいろいろでしたが、クラスのために元気にプレーしていました。

| | | |
|----|----|----|
| 男子 | 1位 | 8組 |
| | 2位 | 4組 |
| | 3位 | 6組 |

| | | |
|----|----|----|
| 女子 | 1位 | 4組 |
| | 2位 | 5組 |
| | 3位 | 2組 |

| | | |
|----|----|----|
| 総合 | 1位 | 4組 |
| | 2位 | 8組 |
| | 3位 | 3組 |

< 1年生 学年集会(Green Festival 2019) > -3月1日-

Green Festival 2019とは、学年レクと有志団体による発表会を行う1年生の学年集会です。学級委員が3ヵ月間をかけて企画・準備を行い、当日の運営を行いました。学年レクでは、漢字対決と借り人競争を行い、クラスの団結が見られました。有志団体による発表では、和太鼓・弾き語り・漫才・チアダンス・吹奏楽が披露されました。また、エンディングでは、緑学年全体の団結力が表れた全員ダンスを行いました。恥ずかしがりながらも、周りを見ながら楽しみながら踊っている姿が見られました。



< 1年生 学習発表会 > -3月15日-

自然教室に向けて、長野県をテーマとして、個人レポートの作成を行い、冬休み明けからテーマごとにグループに分かれて発表の資料づくりを行いました。

発表用資料は、個人レポートの内容を深めて、長野県についての知識を増やすことができました。

形式は、紙芝居形式・模造紙・Power Point・Key Note を活用して、グループごとに事前学習の成果を発表しました。長野県について、発表を聴くことで新たなことをたくさん学ぶことができ、自然教室に向けての気持ちが高まりました。

